

(活動報告書様式)

団体名	社会芸術ラボ ORINAS		
事業名	五感アートを活かした「住みやすい、住みたくなる山形」のまちづくり		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：やまがたまちづくり活動支援事業】		
団体の 所在市町村	山形県山形市	事業費	1,533,538 円
		うち助成金額	1,500,000 円



 Hug Cafe



## ■ 事業目的

1.>With コロナ時代の今、地域での世代間交流の場作りを通して、住民一人一人が主体的に考え話し合い、心身共に健康的な「住みやすい・住みたくなる山形のまちづくり」の構想と具現化を目指し、人生 100 年時代に向けて、生き甲斐、やりがいのある生き方を学びあい、生かす山形のまちづくりを支援する。

2.>加速化する AI 化の中、「人と人、人と街とをつなぐ担い手」を育む。山形地域の資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を生かす、温かな人々のかかわりと暮らしを捉え直す、調査・研究活動の企画・実施。

## ■ 実施内容

1.> まちづくりに関する定量・定性調査等を実施。(N:90)  
2.>前半は五感を生かすワークショップ、後半は「住みやすい・住みたくなる山形のまちづくり」をテーマに話し合う

世代間交流企画を実施(7 月/10 月)

3.>オンラインによる他県との交流会「住みたくなるまちづくりとは?」企画の開催

4.>フォーラム企画での活用を目的に、「街づくりは人づくりから」というテーマで「メッセージ集」を制作。(200 部)

## ■ 事業の成果及び今後の展望

### 1 事業の成果

1.>山形の暮らしに関する意識と課題を共有し、その解決に向けての取り組みを話し合う。それぞれの企画での参加者同士が、率直な意見交換を行い、相互理解に向けての温かなかかわり方を学び合う場から「継続的な関係性」が育まれた。

2.>様々な企画を通して、地域の世代間交流のきっかけを促す。「サードプレイス(第三の居場所)」としての HugCafe の存在が、少しずつ地域に定着。

3.>コロナ禍の中、オンラインを活用することで、山形以外の地域と積極的に交流の場を企画。それぞれの地域における「街づくり」の事例研究を学びあう機会となる。予想以上に活気ある「人と人との交流の場」となり、オンライン交流会の可能性を探究する相乗効果につながった。

### 2 今後の展望

人と人、人と地域をつなぐ、「地域のコーディネーター」の育成を支援するための教育開発ツールを強化していく。また、本事業活動を通して、地域の世代間交流のきっかけ作りに有効な様々な教育プログラムの開発と普及を行ない、温かなまちづくりを目指していく。

温かな関わりとコミュニケーションを探究する、もう一つの居場所「Hug Cafe」。山形の様々な地域や学校で展開していますのでお気軽にお声がけください。

<http://Hugcafe.jp>